



「接着と粘着」

なぜ物がくっつくのか？同じようで違う、接着と粘着

接着剤も粘着剤も「物をくっつける」目的で使用されます。しかし、目的は同じでも、液状やゼリー状が多い接着剤、テープやシート状の製品になっている粘着剤と、身の回りにある接着剤と粘着剤は大きく異なります。また、くっつけたはずの物が外れたというトラブルや、逆にくっつけた物をきれいに外したいなどの要望もあります。

本講習会では、接着と粘着の「物をくっつける」しくみ、接着剤と粘着剤の種類や性質、評価などについて解説します。さらに、実際の接着技術および粘着技術についてお話しします。

1．接着の理論と種類・評価方法

大阪府立産業技術総合研究所 化学環境部 化学材料系 舘 秀樹

接着という手法はあらゆる工業分野に浸透し、欠かせないものとなっています。接着剤が果たすべき役割が大きくなるに伴い、接着剤ならびに接着技術に対する技術的要求が益々多様化してきています。しかし、いざ実際に接着剤を利用するとき、どの接着剤を使えばよいか、また期待する接着強度が得られないことが多いのが実情です。本講演では、なぜ「接着するのか」という理論から現場に役立つことに力点を置いた接着技術を取り上げて説明いたします。

2．粘着剤特有の性質と評価

大阪府立産業技術総合研究所 化学環境部 化学材料系 山元 和彦

粘着剤はビニールテープや両面テープなどに幅広く使用される身近な材料ですが、半導体製造や医療分野、建築・土木関連分野など、様々な分野で多彩な粘着製品が利用されていることは意外と知られていません。粘着剤はプラスチック材料に分類されていますが、柔らかくて表面がネバネバする性質を有しています。本講演では、粘着剤が持つ特有の性質と評価方法を解説するとともに、大阪府産技研で取り組んでいる研究内容の一部を紹介いたします。

- ・日 時：平成22年2月2日(火) 13：30～16：30
- ・会 場：岸和田商工会議所 2階 研修室（岸和田市別所町3-13-26）
- ・定 員：40名（受講票は発行しません。定員を超えてお断りする方のみご連絡します。）
- ・受講料：無料
- ・主 催：大阪府立産業技術総合研究所、岸和田商工会議所
- ・後 援：産学官交流プラザきしわだ、地域力連携拠点(泉州地域)泉南地域中小企業支援センター
- ・申込先：大阪府立産業技術総合研究所 業務推進部 技術普及課

お申し込みはメール(fukyu@tri.pref.osaka.jp)またはFAX(0725-51-2520)でお願いします。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、大阪府立産業技術総合研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

